

シリーズ 第1回

# 産学公連携コーディネータに聞く

中小企業の技術や製品の開発過程で、相談に乗り、サポートする「産学公連携コーディネータ」の存在は、都産技研の大きな強みです。このコーナーでは、そんなコーディネータが日頃受ける相談やサポート内容の実際をシリーズでご紹介します。



**Profile**

日立製作所等勤務を経て、有限会社デザインラボを設立。その経営の傍ら、平成18年から産学公連携コーディネータとして活躍。専門分野はセンサー・システム分野、製造、サービス分野での経営コンサルティング、半導体（通信、センサ）開発のコーディネータ、計測・分析用システム開発等のほか、半導体プロセス技術、分析技術（電子顕微鏡、ASE等表面物性解析）などにも詳しい。

**田中CDの担当曜日**  
毎週火曜日 9時～17時

田中 敬三 コーディネータ **本部**

## 製品開発をトータルにサポートするのが「産学公連携コーディネータ」

産学公連携コーディネータは、平成12年に東京都の事業としてスタートしました。中小企業からの相談を受ける中で、大学の専門家にアドバイスを求める案件が増えてきて、大学との連携を支援する人材が必要になったためです。都産技研のOBや民間の専門家などを集め、最初は5名で対応していました。

都産技研の「産学公連携コーディネータ」が、いわゆる一般の大学の「産学連携コーディネータ」と大きく違う点は、特定の大学との関係も一切なく、企業から相談を受けて、大学とのマッチングを<sup>いち</sup>から検討し、共

同研究の橋渡しをする点です。

私たちは企業の相談に乗りつつ、連携後もきめ細やかに対応します。コーディネータと言うよりコンサルティングに近いですね。「紹介して終わり」ではなく、開発初期の製品戦略や資金確保、販路の相談から、時には製品化にいたるまで、さまざまな形でトータルにサポートします。大変ですが、コーディネータとしての醍醐味でもあります。

最近では、「製品を早く完成させたい」というニーズが多いので、企業と企業をつなぐ「産産連携」の橋渡しを行うケースも増えていますね。

### ●事例紹介 A社の場合〔産学連携の例〕

A社は大学の研究用装置の開発が主な事業。カスタマイズされた高性能な装置である一方で、量産しないという特徴があります。大学としても高額な装置をその都度入れ替えることは不可能なので、装置のキーとなる部分を常に高性能に保つため、絶えず新技術を開発し続けなければならないというミッションがあります。

#### 相談→共同研究までの経緯

- 平成22年1月 新しい技術開発に当たって、A社に某研究所から共同研究の依頼があったとのこと。しかし…
- 平成22年2月 A社：「シミュレーションの結果は上々。概算でも開発できるので、製品開発にチャレンジする」との連絡。  
田中CD：「助成金を申請しては」と提案。
- 平成22年4月 助成金を申請。
- 平成22年6月 助成金が下りたことにより、本格的なシミュレーションを実施。
- 平成23年1月 試作材を開発後、某研究所と共同開発が実現し、研究スタート。現在も継続中。  
その後、某大学からも共同研究の相談があった。

**A社** 新しい装置の製作を依頼されて図面も引いたが、世の中に全く出ていないもの。性能が未知数のため着手できずにいる。

**田中CD** 「まず装置のシミュレーションをしてみようか？」とアドバイスし、対応してくれる企業を紹介しました。



## Message 中小企業の皆さんへ



都産技研にお越しいただいたら丁寧にお客さまのお話を聞く、というスタンスで相談に乗るようにしています。とにかくお気軽に、ご相談ください。

相談内容がコーディネータの担当分野に該当しない場合でも、まずは予約のお電話をいただければ、私たちもあらかじめ勉強して調べることができますので、より適切にご対応できると思います。

ご相談をお待ちしています！

# 知っていますか？『産学公連携コーディネータ』

中小企業が新製品や新技術の開発を進める上で、大学等の技術やノウハウを活用したい場合、コネクションがない、どこに相談すれば良いかわからない…などの課題はありませんか？

そんな時に、連携先の大学を検討・紹介し、開発に当たっての支援を行うのが、**産学公連携コーディネータ**です。

コーディネータはいずれも、都産技研が委託する外部の専門家であり、技術面はもちろんのこと、それぞれが培ってきた人脈を生かしてサポートします。大学だけでなく、他機関とのコミュニケーションの橋渡し役なども担っています。

現在、本部5名、多摩テクノプラザ3名のコーディネータがご相談に応じています。

各コーディネータの担当曜日や専門分野などの詳細はホームページをご参照ください。  
<http://www.iri-tokyo.jp>

## 企業の開発ニーズ

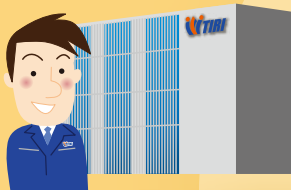
- 共同研究の実施
- 技術力向上
- 開発人材等の課題

## 産



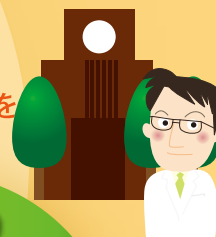
自社技術を生かした製品開発

製品化  
技術支援



専門のコーディネータが技術課題解決を支援

研究成果や技術を産業界で活用



## 都産技研の支援内容

- 人材とネットワーク
- 研究成果および特許のノウハウ
- 試験・検査等の評価技術

## 公

## 大学のシーズ

- 研究成果
- 研究ノウハウ・設備
- 保有特許など

## 学

### ●相談をご希望の方へ

事前予約をお願いします。予めご要望をお伺いすることで、コーディネータのマッチングや、よりスムーズなご対応につながります。

【本部】

TEL : 03-5530-2134 (直通)

FAX : 03-5530-2318

【多摩テクノプラザ】

TEL : 042-500-2300 (代表)

FAX : 042-500-2397

**相談無料**

### こんなときは、ぜひご相談ください！

- 情報収集や相談、研究成果の活用などで大学を利用したいが、どこへ行けばよいか分からない。
- シーズを持っているが、大学や都産技研の技術を活用して共同開発や製品化をしたい。
- 大学の研究室、研究内容などの情報が欲しい。